

学校や保育園等の公共施設における危険なブロック塀 等の撤去・改修に関する緊急要望

本年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震では、4名の死者、多数の負傷者が発生するとともに、都市災害に起因する混乱も発生し、住民の命を守り、地域の安全を確保するための防災・減災対策の重要性があらためて認識されている。

特に、小学校のブロック塀崩落により、登校中の児童の尊い命が奪われるという痛ましい事案が発生したことから、多くの自治体においては、緊急に学校等を中心とした公共施設のブロック塀等について、調査点検を行い、危険な箇所への早急な対応が求められているところである。

よって、国においては、学校、保育園等の公共施設のブロック塀等の調査点検及び危険な箇所の撤去・改修が迅速かつ円滑に実施できるよう、技術的支援や国庫補助制度等財政支援の拡充を図るよう要望する。

平成30年7月

全国町村会長

荒木 泰臣

